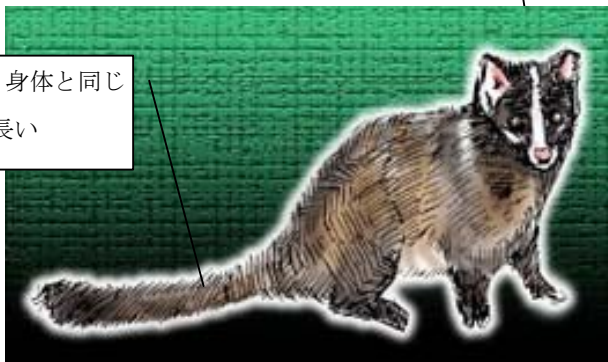


意外と身近にいる野生動物

2008（平成 20）年に刊行予定の相模原市史『自然編』では、現在相模原に生息・生育する動植物の調査を進めています。街中でタヌキ、ハクビシン、アライグマといった野生動物を見かけたことはありませんか？

顔：額から鼻にかけて白い筋

シッポ：身体と同じくらい長い



ハクビシン（ジャコウネコ科）

顔：目の周りの黒い部分は分かれて見えます



シッポ：比較的短い

タヌキ（イヌ科）

シッポ：太くてシマ模様



アライグマ（アライグマ科）

顔：眉間にもシマがある
タヌキとよく似た顔です



遠目にはイヌ・ネコと間違われることも多いこれらの動物は、こんな姿をしています。夜行性のため、体全体のフォルムとシッポに注目すると良いでしょう。

いつ、どこで、どの動物を見たという目撃情報は、相模原の生態系を調査する上で大切な基礎資料となります。もしも街中でこれらの動物の姿を見かけましたら、市史編さん室までご一報下さい。

（主事 鈴木 亜由美）

公文書の保存を進める

保存文書移管作業から

市の仕事を進める中で作成された文書＝「公文書」は、市政の歴史を知る大きな手がかりになります。作成した公文書を市ですべて保存しておけばいいのですが、数が大量にあることや場所に限度もあり、1年や3年などの保存期限を決めて廃棄しています。特に大切な文書・長期閲覧すると思われる文書(永年保存文書)も原則マイクロフィルム化し、原本は廃棄しているのが現状です。

市史編さん室では、これらの廃棄対象となる公文書のうち、特に歴史的価値が高いと認められるものについては、毎年各課・機関から移管を受けて保存しています。前述のマイクロフィルム化も資料保存の一手法ですが、原本ほど当時を鮮明に物語るものはありません。受け入れた公文書は、まず一点ずつ文書作成日や内容等を記入した資料カード化します。そして現代資料編など、今後編さんされる市史の基礎資料として活用されます。



表紙もそのままの状態、移管しています。中段に並ぶ黄色表紙は5年、下段の白色表紙は3年保存だった文書。



現在までに移管を受けたものは、すべて「紙」に書かれたり印刷されたものですが、相模原市では2004(平成16)年から公文書の作成から保存までをコンピューター上で行う電子化を実施しています。今後は、こうした「紙」でない公文書をどのように保存していくかが課題です。

「広報さがみはら」作成時に起案された文書。赤い表紙なので永年保存文書だった。移管時、下部に市史編さん室独自の分類シールを貼り管理している。この場合は「総務」の分類。

資料を集めています

公文書以外にも、市の歴史がわかるような資料を鋭意収集中です。文書類でなく実物でも結構です。「家にこんなモノがあるよ！」という方がおられましたら、ぜひお知らせください。

写真：50万人都市(1987(昭和62)年)を記念して発売されたワイン



相模原ものモ/事典④

電話交換機

写真は1964(昭和39)年に撮影されたものです。ずらっと並ぶ人たちは電話交換手さんで、向いにあるのが「電話交換機」です。

かつては、電話をかけるにもダイヤルひとつで・・・という訳にはいかず、交換手に申し込んで、手動で相手側につないでもらっていました。

1960(昭和35)年に橋本、1964年には市役所前に新しい電話局が開局し、市内でも交換手を通さないダイヤル即時通話ができる地域が徐々に広がりました。また収容回線数に余裕ができ、電話の加入数は大きく増加していきました。1960年8月の新聞には、橋本局の自動化により市役所内に新しい構内交換機が導入され、市役所から市外・東京との通話はすべてダイヤル即時通話になったという話題も掲載されています。

市史現代図録編所収の「電話加入数」のデータによれば、1952(昭和27)年に市内で556台だった加入電話は、2001(平成13)年には266,937台に増加しています。

ちなみに1983年(昭和58年)の小笠原諸島をもって、日本国内でのダイヤル即時通話化は完了しました。現在は外国へも大半の地域にはダイヤル即時通話ができますので、交換手さんの声を聞くことは、ほとんどありません。



相模原市広聴広報課所蔵



相模原市史・市史ノート販売中

市史編さん室では、以下の刊行物を作成・販売しています。



刊行物名	価格	大きさ・ページ数	刊行時期
相模原市史現代図録編	1,500円	A4判・296ページ	平成16年11月
相模原市史第1～7巻	1,900～4,500円	B5判・578～842ページ	昭和39～47年
相模原市史ノート創刊号	350円	A5判・112ページ	平成16年3月
相模原市史ノート第2号	700円	A5判・104ページ	平成17年3月

現代図録編(右上写真)には、戦後の人口や交通・物価関係等の統計や市内の出来事を中心とした年表を豊富に掲載しています。夏休みの宿題・自由研究・レポート作成にお役立て下さい。

お求めは、市史編さん室又は市役所本館1階の行政資料コーナーへどうぞ。

なお、遠方の場合は、送料実費で配送の取扱いをいたします。詳細はお問い合わせいただくか、市史編さん室のホームページを御覧ください。



編さん室の動き (5月～6月)

月	日	内 容
5	7	「市史編さんだより第24号」発行 近現代部会基地グループ・市政グループ打ち合わせ
	10	博物館消防訓練に参加
	13	現代編資料調査(県立図書館、14・24日にも実施) 考古関係で文化財保護室・博物館と情報交換
	17	現代編資料調査(埼玉大学、31日にも実施)
	19	神史協(神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会)平成16年度分会計監査
	21	市文化財研究協議会講演会で講演(神崎特別顧問)
	25	神史協研修会に参加(県立公文書館)
	6	2
4		近現代部会開催
7		現代編資料調査(座間市立図書館)
9		現代編資料調査(國學院大學図書館)
10		自然編動植物(野生動物関係)調査(北清掃工場、22日にも実施) 現代編資料調査(市民ギャラリー)
12		現代編戦車闘争関係資料調査(個人宅、21日にも実施)
14		現代編資料調査(中央大学図書館) 現代編資料調査(埼玉大学)
18		考古編中世・近世石造物調査 現代編資料調査(橋本・医療機関)
25		現代編資料調査(旧南文化センター) 収集資料を燻蒸(くんじょう)のため博物館の洗浄乾燥室へ持ち込み
28		民俗部会開催
30		現代編資料調査(個人宅)

「さがみはら市史編さんだより」第25号

発行 2005(平成17)年7月1日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19 (市立博物館隣り)

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

ホームページ : <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp> (相模原市トップページ)

(市のプロフィール⇒市史編さんについて または
観光・文化⇒市史編さん の順で御覧になれます。)